

## 1年生の部屋は、ハロウィンに向けて模様替え



ハロウィンに向けて、児童と職員が協力し、工夫しながら、1年生の部屋の飾りつけをしました。

## 会員継続確認の調査及へのご協力、ありがとうございました

6月に実施した「会員継続の確認等に関する調査」では、ご協力ありがとうございました。これらの調査に基づいて、今後は以下のように会員継続の手続きを進めていく予定です。また、2023年度に1年生になる弟さん・妹さんの入会手続きも以下のように進めていくこととなりますので、ご承知おきください。

なお、家庭状況等により、入会継続希望や新規入会希望に変更が生じた場合には、速やかにご連絡くださるようお願いいたします。

### 【現会員の手続きについて】

- (10月20日～) ・継続希望者へ「会員継続願」提出の依頼  
(児童クラブ⇒各家庭)
- (～11月11日) ・「会員継続願」の提出 (各家庭⇒児童クラブ)
- (12月中) ・必要書類 (家庭状況調査票、就労証明書、写真等公開にともなう調査のお願いなど) の提出依頼 (児童クラブ⇒各家庭)
- (1月中) ・上記必要書類の提出 (各家庭⇒児童クラブ)
- (2月中) ・必要書類の確認・精査後に、「入会継続許可書」を送付  
(児童クラブ⇒各家庭)
- (3月中) ・退会希望者は「退会願」を提出

### 【新会員の手続きについて】

2023年度1年生になる弟さん・妹さんが、入会を希望する場合の手続きは、次のようになります。

\*ただし、明和幼稚園在園児については幼稚園をとおして依頼や提出等をお願いいたします。

- (10月20日～) ・入会希望者へ「入会申請書」提出の依頼  
(児童クラブ⇒各家庭)
- (～11月11日) ・「入会申請書」の提出 (各家庭⇒児童クラブ)
- (12月中) ・必要書類 (家庭状況調査票、就労証明書、学費口座振替依書、写真等公開にともなう調査のお願いなど) の提出依頼  
(児童クラブ⇒各家庭)
- (1月中) ・上記必要書類の提出 (各家庭⇒児童クラブ)
- (2月中) ・必要書類の確認・精査後に、「入会許可書」を送付  
(児童クラブ⇒各家庭)

### 連絡

・明日、避難訓練(対不審者)を実施します。お迎えの時間と重なった場合は支援員にお声がけください。

- ・「かんぱん」を配布させていただきます。明和幼稚園等の防災倉庫の備蓄品入れ替えのため、今まで防災倉庫に備蓄していた「かんぱん」を児童クラブの児童にも配布させていただきます。配布は来週以降になる予定です。
- ・「11月の利用予定表」の提出は、10月25日が締め切りです。
- ・10月28日(群馬県民の日)に利用の方は、お弁当の用意をお願いします。

※明和児童クラブでは、来年度も定員がいっぱいになる関係で、**来年度の一年生に対しても、一般募集をしませんのでご承知おきください。**  
原則として、明和幼稚園の卒園生と現会員の兄弟のみの入会受け入れとなります。

(文責＝驚頭)

## 子育てのあれこれ No.17

子どもへのしつけが大切なことは分かっているけれども、具体的にどのようにしたらいいか分からないという話を時々聞くことがあります。私自身も、子育ての頃には、その方法が分からなくてずいぶんと迷ったりしたものでした。そこで、今回は、専門家が主張するしつけの方法を紹介させていただきたいと思います。

### 自己選択や自己決定を経験させながらする「しつけ」について

#### (1) 自己選択や自己決定の大切さについて

よく「何にでも意欲的に取り組める子にしたい」という話を聞きますが、その「自主性」を育てるために必要かつ大切なのが、次のような経験を10歳ぐらいまでにさせることです。

- ・失敗を覚悟で、自分で選んだり（自己選択）、自分で決めたり（自己決定）する経験をさせる。
- ・十分に遊ばせる。（できれば友だちとの外遊び）
- ・失敗を許す心の余裕をもち、規制や禁止をしない。
- ・手出しをしないで、困った体験をさせる。（朝、遅刻して恥ずかしかった、忘れ物をして困った等）

#### (2) しつけの時期と「しつけ」の大切さについて

子どもが社会生活を行っていくために欠かせないのが、「しつけ」であり、その基本は、がまんさせることです。10歳ぐらいになると、**子どもの論理的思考が大人なみになる**ため、指示、命令、叱責、訓戒、説諭などに対しては、反抗的になるので、（表面的には受け入れたようでも、心では反抗していることもあります。）最低限必要なしつけは、**それ以前に徹底**させることが必要です。

#### (3) 自己選択や自己決定を経験させながら「しつけ」をする方法

子どもの「気持ち」を受け入れながら、「親としての思い」を伝え、望ましい行動を自己選択・自己決定(自分で選んで、自分で決めさせること)できるように導きます。

例えば3つのケースを考えると以下の通りです。×は望ましくない対応、○は望ましい対応です

#### (例) ・食事をだらだらと食べている子に対して

- ×「いつまで食べているの。早く食べなさい。そうじができないじゃあないの。」
- 「ゆっくりと食べたいのね。でもそうじをしたいので、終わりにしてもらおうと助かるんだけど。どのくらい待てばいい？」

#### ・家の中でゲームばかりしている子に対して

- ×「ゲームばかりして目が悪くなくても知りませんよ。ゲームをやめて、早く外へ行って遊びなさい。」
- 「ゲームが好きなんだね。でも、外で遊ぶのは気持ちよくて体にもいいし、お母さんはそっちが好きだな。」

#### ・はやりのおもちゃを買ってほしいとねだる子に対して

- ×「○○なんかすぐにあきちゃうんだからダメ。そんなものを買うお金はありません。」
- 「○○がほしいんだね。でも今はお金はないし、お母さんは必要ないと思うの。もう一回よく考えてみて。」

(参考文献) 「『心の基地』はおかあさん」「子どもの能力の見つけ方・伸ばし方」「親がすべきこと・してはいけないこと」(平井信義)、「頭のいい子より賢い子を育てるしつけ方」「アドラー博士が教える『失敗に負けない子』に育てる本」(星一郎)、「学校で出来ること出来ないこと」(外山滋比古)、「しがるが育てるもの」(高野清純)、「子どもがのびのび育つ叱り方、ストレスになるほめ方」(加藤諦三) 他

以前にも書かせていただきましたが、このコーナーで紹介させていただいていることは、あくまでも理想です。現実には、そう簡単にはできないことが多いので、「できるに超したことはないが、できなくて当たり前」ぐらいにうけとめていただけたらと思います。